

Public Relations

広報



<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>



今月の表紙 第50回津高祭 ~ 趣向を凝らした7基の行灯が町内をパレードしました ~

まちの話題 かれんな花が初夏を彩る クリンソウまつり開催

第37回つべつ夏まつり

津別ウッドクラフト展2007 居間を彩る作品を募集中!

温故知新

ふとん作り・打ち直しの匠

本岐 岡田 エミ子 さん

2007.8
NO.536

かれんな花が初夏を彩る
クリンソウまつり開催

6月24日、上里の町民の森自然公園内で第2回クリンソウまつり（津別観光協会主催）が行われ、初夏を彩るかれんな花を求め、午前中から多くの家族連れで賑わいました。

今年は昨年より1週間、開催日を遅らせたため公園内はクリンソウで満開となり、各地から訪れた450人の方は遊歩道からクリンソウを眺めたり、カメラに収めたりしていました。

釧路市から訪れた親子連れは「津別町に初めて観光に来ました。クリンソウはとてもしきれいですね。来年も家族で見に来ます」と笑顔で話してくれました。

佐藤久哉観光協会会長は「オホーツクの花の名所としてこれからも宣伝していきたいです」と話してくれました。



道内各地から多くの人々が訪れたクリンソウまつり

行灯行列が町内を練り歩く
生徒の力を集結した第50回津高祭

7月14日、15日の2日間、第50回津高祭が開催され、YOSAKOIや行灯パレードなど、学校と町民が一緒になってお祭りを楽しみました。

今年の行灯行列は一般参加者を含めた7基が学校前をスタートし、会場の津別病院駐車場までの1.5kmをパレードしました。

「クマのプーさん」や迫力のあるねぶたの「桜我」なども力作でしたが、審査の結果、3年A組「桜我」が優勝しました。

学年ごとに演舞したYOSAKOIは3年生の「美乱」が最高の踊りで優勝しました。最後に生徒たちが廃品回収の資金で打ち上げた花火大会が行われ、記念すべき第50回津高祭を終えました。



力作揃いの7基の行灯が町内をパレードしました



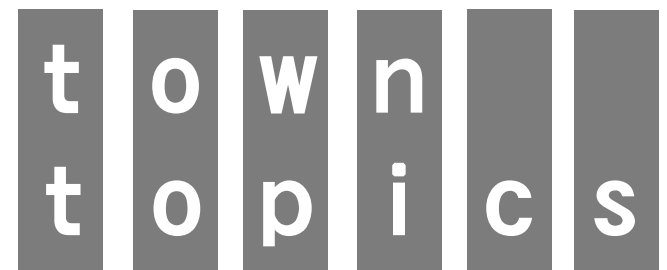
行灯をバックにYOSAKOIを披露する高校生

バスターミナルに花壇のデザインが決定！
後藤里乃さん(津小1)の希望の星が最優秀賞



6月23日、花のまち推進協議会と津別町で募集していたバスターミナルの花壇デザインの表彰が行われ、最優秀賞に後藤里乃さん(津別小1)、優秀賞に山田愛果さん(活汲小6)、川瀬安咲さん(津別小6)、藤原美優さん(津別小2)、五島明日未さん(津別小2)が星屋光春会長から表彰状と花苗が贈られました。

その後、推進協議会会員と入賞者約30人がマリーゴールドやペコニアの苗860本をデザイン画のように植えました。子どもたちの夢がいつばいの花壇は、バスを利用する方の目を楽しませてくれそうです。



まちのわだい

鷓木絵里さんの歌声が響く
青少年移動芸術劇場開催

7月6日、中央公民館で町内の小中学生を対象にした青少年芸術劇場「鷓木絵里ソプラノ・コンサート」が開催されました。

この行事は地域の児童生徒に生の優れた芸術を鑑賞してもらおうと毎年開催されています。



鷓木さんはアニメやミュージカルの歌を中心に「さんぽ」「マイフェアレディ」などソプラノの歌声を藤井亜紀さんのピアノに合わせて子どもたちに披露しました。子どもたちは生で聴くソプラノの魅力に引き込まれていました。

鷓木さんはアンコール曲の「星に願いを」を含む9曲を熱唱し、会場からは大きな拍手が送られていました。

7月18日、津別商工会女性部(富田沙智子部長)による津別峠展望台施設の清掃ボランティアが行われました。この活動は商工会女性部による地域への貢献活動として平成3年から行われています。

この日は16人の女性部員と職員が参加し、展望台駐車場のゴミや窓ガラスの汚れを約1時間かけて清掃しました。

富田部長は「津別峠の眺めをきれいな施設で気持ちよく見てもらえれば幸いです。これからも奉仕活動を続けていきたいです」と話してくれました。



商工会女性部が清掃ボランティア
汚れが一掃された津別峠展望台



南アルプス新市長が来町
特産品甲州鬼面瓦を町に寄贈

7月8日、つべつ夏まつりに南アルプス市の新市長今沢忠文市長が来町し、議会や商工農林業関係者と交流を深めました。

津別町と南アルプス市は平成16年10月に姉妹都市を提携し、教育や産業・文化・スポーツを通じたさまざまな分野での交流が続いています。

翌日、役場を表敬訪問した今沢市長は南アルプス市の特産品「甲州鬼面瓦」を佐藤多一町長に寄贈しました。今沢市長は「おまつりを楽しんでる皆さんの姿を見て津別の広大さを感じました。今後も交流を深めていきましょう」と話していました。

7月18日、河岸公園で一人ぐらしの集い(津別町社会福祉協議会主催)が開催され、町内在住の65歳以上のお年寄り78人がジンギスカンを食べたりゲームをして交流を深めました。大勢で食べるジンギスカンに会話も弾み、みなさんの顔は笑顔でいっぱいでした。

昼食後は豪華賞品が当たるビンゴゲームや参加者による北海盆歌などが行われ、楽しい1日を過ごしました。

ビンゴゲームで1位になった東3条在住の古館さんは「毎回参加しています。みんなの顔を見ながら食べるジンギスカンはとてもおいしいです。」と話してくれました。



ジンギスカンとゲームで交流深まる
一人ぐらしの集いに78人が参加



木登りの魅力に触れる
ツリーイング体験会開催

6月17日、21世紀の森キャンプ場でロープを使って木登りを楽しむツリーイング体験会(津別町振興公社主催)が開催されました。

参加した9人の子どもたちはTMC A道東ブロックのインストラクターに指導を受けながら高さ20mのこれの木登りに挑戦しました。

初めはロープの使い方に悪戦苦闘していましたが、すぐにコツをつかみ登っていききました。子どもたちはツリーモックで休憩しながら眺めを楽しんだり、次の木に挑戦するなど、すっかりツリーイングの魅力にとりつかれたようです。



消防署で心肺蘇生法を学びました

社会の基本ルールとマナーを体験 津別高校生57名が職場実習を実施

津別高校では6月19日から21日の3日間、2年生を対象にフォレスター、消防署、役場、保育所、青葉幼稚園など町内12事業所で職場実習を行いました。今年で11回目を迎えた実習は進路決定に役立てることが目的で、生徒たちは社会のルールやマナーを得ようと頑張っていました。

保育所で実習した三瓶尚也君は「将来福祉の仕事を目指しているので保育所を選びました。みんなとお遊戯などができて楽しかったです。」と感想を話してくれました。



保育所で運動会のお遊戯を練習中！

初めはぎこちない滑りだった子供たちも、午後からは冬の間を感じ取り戻し、見事なシュプールを見せていました。岩谷さんは滑ってくる子どもたちに適切なアドバイスを送っていました。

7月21・22日の2日間、元オリンピック選手の岩谷高峰さんによるグレスステンスキー講習会が行われました。今年で6回目となるこの講習会には道内各地からスキー少年団に所属する子どもたちと一般愛好者の59人が参加しました。



岩谷さんからアドバイスを受ける子どもたち

元・五輪選手の岩谷高峰さんが指導 グレスステンスキー講習会を開催

7月3日、北見保健所と町内の4団体（津別ライオンズクラブ・JAつべつ・津別町環境衛生推進協議会・役場）が協力して、共和や高台など町内4カ所の野生大麻にある野生大麻の抜き取り作業を行いました。

野生大麻の撲滅運動は20年前から毎年続けられています。この地道な運動により野生大麻の群生地を年々減少させ、大きな成果を出しています。



ライオンズクラブなどが協力
野生大麻の抜き取り作業実施



チミケツ湖周辺に300本植樹 オホーツク地域植樹祭開催

6月24日、チミケツ湖周辺の道有林（台風被災地）でオホーツク地域植樹祭が開催されました。今回の植樹祭は、苫小牧市で開催された全国植樹祭に併せて地域一帯で森づくりに取り組むことを目的に行われたものです。主催者を代表し佐藤正敏副町長が「緑を大切にしていこう」という思いを子どもたちに伝えたいと、参加者68人は網走東部森づくりセンターの職員に植樹方法の指導を受けながらミスナラ、アカエゾマツ、エゾヤマザクラの苗300本を一本づつ丁寧に植えました。最後につべつ緑の少年団と関係者5人が植樹記念の看板を設置しました。



津別野球少年団が全カブレ・マクドナルド大会の全道大会開催
7月14日から16日の3日間、美幌町と津別町の3球場で全日本学童軟式野球大会（協賛日本マクドナルド）北・北海道大会が開催され、地元津別野球少年団を含む16チームが全国大会を目指し、熱い戦いを繰り広げました。
この大会に向けて、厳しい練習を重ねてきた津別野球少年団は、帯広東フェニックス（今大会優勝チーム）と対戦しました。子どもたちは保護者の熱い応援の中、全力でプレーをしましたが惜しくも初戦敗退となりました。
しかし、5年生が主力だった今年のチーム、今回の全道大会出場という貴重な体験が来年への大きな自信につながるはず。がんばれ、津別野球少年団！

昨年5月に発足した津別フットサルクラブ「さるの会」（河本純吾代表）は津別町の若者の力をPRしながら夏季リーグ戦やサマーフットサルフェスティバルに出場し、熱い戦いを繰り広げています。発足当初は5人だったメンバーも現在は17歳の高校生から34歳までの25人が在籍し、チーム力も充実してきました。
現在、夏季リーグは3試合を残し1勝1敗と優勝圏内、サマーフェスティバルも1勝2敗1分けと大健闘しました。
また、新ユニフォームを作成中で11月から始まる冬季リーグにはお披露目が出来そうだと笑顔で話す河本さん。
若い力で津別を元気にしてくれる津別フットサルクラブ「さるの会」をみなさんで応援しましょう！



熱のこもった練習を続ける津別フットサルクラブ「さるの会」



安全運転をお願いします 青葉幼稚園児が街頭啓発

6月26日、青葉幼稚園の空クラス12人が共和のリサイクルセンターを訪れ、その他プラスチック、ペットボトル、空き缶のリサイクルに向けた作業工程を見学し、分別と再使用の大切さを学びました。
園児たちは職員から「きちんと分別してね。洗ってから出してね」とお願いされた後、実際に何百本のペットボトルが圧縮梱包機から小さくなって出てくるのを見て大きな歓声をあげていました。
見学した園児たちは「固まって出てきたのでおもしろかったよ。」「また見に来たいな」と楽しそうに話してくれました。



ちゃんと分別するからね！
青葉園児がリサイクルを学ぶ

みなさんに信頼される職員を目指します

佐藤 賢利 さん



さとう たかとし さん / 昭和58年11月生まれ / 網走 卯原内出身 / 網走信用金庫津別支店に勤務 / 1条通

青春

くろ-ずあつぷ

4月から、網走信用金庫津別支店に勤務している佐藤賢利さんはさんご草群生地で有名な卯原内出身です。現在、預金の入出金や定期預金の作成など後方事務を担当。「緊張の連続でしたが、津別は親切な人が多いのでよかったです。早く仕事を覚え、地域に信頼される信金職員を目指したいです。」

想像以上の運動量に驚いているそうです。津別の印象を「環境が卯原内と似ています。津別のいろいろなことを知ることができて新鮮です。特に津別峠からの眺めは最高です。次はチミケツ湖に行ってみたいです。帰りに弁当が半額になっているのもうれしいです。」(笑) 佐藤さんの目標と夢は「社会保険労務士の資格取得と貯金をして新車(ブジョー307)を購入し、大自然をドライブすることです」と笑顔で話してくれました。

知漫

【352】

ふとん作り・打ち直しの匠

岡田エミ子 さん



おかだ えみこ さん / 昭和5年津別町木樋で出生 / 1人暮らし / 趣味の日本舞踊に励む / 76歳 / 本岐在住

昭和28年夫の豊さん(故人)と結婚し昭和30年夫と共に「岡田ふとん店」を開業。ふとんの打ち直し専門であったが昭和39年に寝具技術を習得するため、北見市で行われた北海道綿寝具組合の講習会において技術認定を受け、本格的にふとん店を営むようになった。当時は、本岐市街でも3000世帯を数え販売も繁盛し毎日、午前7時から午後7時まで働き、「ふとんの打ち直し」「ふとん作り」はエミ子さんが専門に行い、夫がオートバイやカーに出来上がったふとんを積み、配達などをして

幼児2人を抱え夫婦ともども懸命に働いたことを想い出しながら、「農家でも羊を飼育し刈り取った羊毛を、遠くは相生、恩根から馬車、馬そりなどを使って持ってきてくれ、運搬手段のないときで大変助かった」と懐かしく話ってくれた。ふとんの作り方を聞いてみると「寝具は、一人一人の希望で入れるが硬い敷布団の場合は羊毛7kg、綿わた1・8kgが標準で羊毛を綿わたで囲み、ふとんのふなぞこ(敷布団の中央付近)を特に厚く寝やすくするようにしている。打ち直しは、「上質羊毛などは再利用し不足する羊毛や綿わたなどを入れ仕上げていく。現在も岡田さんの技術の高さもあって顧客は途切れることもなく北見市や美幌町からも注文もあって年齢の衰えからひざ痛はあるもののお客さんの笑顔を見ると元氣になり日々ふとん作り、ふとんの打ち直しをしている。」

暮らしを支える **税** 消費税などの中間申告が必要

個人事業者の方で、前年分の確定消費税額が一定金額を超える方は、中間申告書を提出するとともに、消費税額及び地方消費税額を納付しなければなりません。

中間申告と納税が必要な方
個人事業者の方で、平成18年分の確定消費税額が48万円を超える方は、中間申告と納税が必要です。

この「平成18年分の確定消費税額」とは、平成18年分の確定申告により確定した消費税の年税額をいい、期限後申告又は修正申告等が行われた場合には、これらによって確定した消費税の年税額をいいます。消費税と地方消費税を合わせた額ではありません。

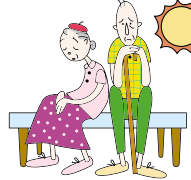
中間申告の方法
次の2つの方法がありますのでいずれかで中間申告を行ってください。

- ① 前年実績による中間申告
- ② 仮決算に基づく中間申告(事業状況が平成18年と著しく異なる場合など のとき)

申告と納付期限
確定消費税の額が48万円を超え400万円以下の方は平成19年8月31日(金)までに申告・納付をしてください。振替納税をご利用の方の振替日は平成19年9月27日(木)になります。

健康 いきいき

おいしく食べて元氣に暮らそう
お年寄りのための食事



- ① 最近、食欲はいかがですか。暑い日が続くと食欲がなくなる方も多いのではないのでしょうか。特にお年寄りの場合は、食欲がないからといって朝と昼を一緒にしたり、量を減らしたり、お茶漬しやざるそば・そうめんだけといった簡単な食事を続けていると、栄養が偏り体調を崩しやすくなります。年齢とともに消費エネルギーは低下しますが、たんぱく質やビタミン、ミネラルの必要量はそれほど変わりません。上手に栄養を取る工夫をしましょう。
- ② 良質のたんぱく質を取り入れましょう
魚・肉・大豆製品・卵・牛乳などを一回の食事にどれか一つは取り入れましょう。調理が大変な時は市販品(卵豆腐、さんまなどの缶詰、冷凍食品など)を利用してみてもよいでしょう。
- ③ 魚・肉・大豆製品・卵・牛乳などを一回の食事にどれか一つは取り入れましょう。調理が大変な時は市販品(卵豆腐、さんまなどの缶詰、冷凍食品など)を利用してみてもよいでしょう。
- ④ 良質のたんぱく質を取り入れましょう
魚・肉・大豆製品・卵・牛乳などを一回の食事にどれか一つは取り入れましょう。調理が大変な時は市販品(卵豆腐、さんまなどの缶詰、冷凍食品など)を利用してみてもよいでしょう。
- ⑤ 調理にひと工夫しましょう
そしゃくや飲み込む力に合わせて素材を選び、切り目を入れる、ミンチにする、とろみをつけるなどの工夫をしてみましょう。
- ⑥ ゆっくり、よくかんで食べましょう
かめばかむほど、唾液がたくさん出て消化を助けます。ゆっくりと味わって食べましょう。
- ⑦ 食欲がわいてくる工夫をしましょう
旬の食材、彩り、香り、食感盛り付けなどにも変化をもたせましょう。ごはんをおいしく食べるには、ふりかけを利用したり、おにぎり、丼もの、すし飯にするのもよいでしょう。
- ⑧ おいしく食べるには空腹が一番です。間食はほどほどにして適度に体を動かしてみませんか。

2007津別ウッドクラフト展



今年のテーマは「あったらいいなあ、こんなもの」

～時計、カレンダー、タペストリー、テーブル、椅子、小物入れ、灰皿など使って楽しい、飾って楽しい居間を彩る「木」の用品を募集します～

私たちは森の恵みや大切さを理解していても、生活の中ではつい忘れがちです。

日常の暮らしの中で、使いながら木や森の良さを身近に感じられるようなものがあれば、もっと自然と仲良くなれるように思います。

生活の中にある用品が「使って楽しい、飾って楽しい」をキーワードにした木工クラフトとして生まれてくるよう、クラフト展を実施します。

みなさんからの応募をお待ちしています。

応募受付期限 平成19年10月2日(火)必着。

応募資格 どなたでも応募できます。

応募部門 大人の部と子どもの部(中学生以下)

応募規定(作品規定)

- ① 作品の素材が木(根・葉・実を含む)であること。
もしくは、木が重要な機能を果たしているもの。
- ② 作品の縦・横・高さの合計が180cm以内であること。
- ③ 未発表の作品であること。
- ④ 応募点数は1人5点まで。

応募方法 所定の申込書により必要事項を記入し、右記へ郵送または持参ください。(FAX・メール可)

出品料 無料。(搬入、搬出に要する経費は出品者の負担とします)



2006ウッドクラフト展
子どもの部最優秀作品「原始鳥」

2006ウッドクラフト展
大人の部最優秀作品「銀河」



作品の搬入・搬出場所

- ・場所 つべつ木材工芸館 ☎ 0152-76-3335
〒092-0225 網走郡津別町字共和127-7
- ・日時 搬入日時/10月9日(火)～10月14日(日)
午前10時～午後4時
搬出日時/11月19日(月)～11月25日(日)
午前10時～午後4時

大人の部 最優秀賞(1点)(賞金等により買い取り)
賞金8万円+地場特産品2万円相当
優秀賞(3点)
賞金2万円+地場特産品1万円相当

子どもの部 最優秀賞(1点)(図書券等により買い取り)
図書券2万円+地場特産品1万円相当
優秀賞(3点)
図書券5千円+地場特産品5千円相当

部門共通 審査員特別賞(数点) 地場特産品1万円相当
展示会 (入賞作品は1年間展示します)

審査会 10月19日(金)
展示会 10月20日(土)～11月18日(日)
場所 つべつ木材工芸館

応募・問い合わせ先 津別町役場 産業課林務係
〒092-0292 網走郡津別町字幸町41
☎0152-76-2151(内線315) FAX 0152-76-2976
E-mail tubetu03@cronos.ocn.ne.jp
出品申込書は津別町のホームページからもプリントアウトできます。
<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>



松浦亜弥の物まね最高!前田健の爆笑ライブ



ゴール寸前で川に転落!爆笑の川のぼり大会



観衆を魅了した門倉有希さんの歌謡ショー



1500発の華麗な花火が夜空に咲きました



第37回

つべつ夏まつり

スナップ



400人が踊った千人踊り!大きな輪ができました



津別よさこい双桜凍舞の演舞に拍手喝采!



7月7日、8日の両日、河岸公園で、第37回「つべつ夏まつり」(観衆1万7500人)が開催されました。

7日の前夜祭は、千人踊りやよさこい競演などが行われました。特に千人踊りには、昨年を上回る400人が参加。法被や浴衣に着替えた町民が楽しそうに踊っていました。最後に前夜祭をしめくくする花火大会では、約1500発が次々に打ち上げられ、観客からは大きな歓声が上がっていました。

翌日の本祭りも晴天に恵まれ、多くの家族連れで賑わいました。人気の川のぼり大会には48人が参加。バランスを崩して川に落ちる参加者が続出し、観客席からは歓声と笑いが絶えませんでした。

ステージではHBCラジオ公開録音による門倉有希の歌謡ショーと前田健の爆笑ライブが行われました。観衆は芝生の上で津別の特産ビーフやビールを味わいながら短い夏を楽しんでいました。